



2024年4月2日

各 位

会社名 第一商品株式会社
代表者名 代表取締役社長 岡田 義孝
(コード：8746 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役管理本部長 七條 利明
電話番号 03-3462-8011(代表)

(開示事項の経過) 金の価格と連動する暗号資産の追加リスティングに関するお知らせ

この度、当社の海外子会社「Kinka(BVI),Ltd.」が発行している金の価格と連動する暗号資産「Kinka」が、新たな海外の暗号資産取引プラットフォームで取扱銘柄に指定（リスティング）されることが決定しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

1. 暗号資産「Kinka」リスティングの概要

(1) 取扱開始日時	2024年4月16日（火）20時
(2) リスティングされる暗号資産取引プラットフォーム	MEXC（2018年設立） 公式ウェブサイト： www.mexc.com 公式X（旧Twitter）： https://twitter.com/MEXC_Official 公式Telegram： https://t.me/MEXCEnglish
(3) MECの概要	①運営会社 MX Global Ltd. 代表者の役職名：Director 代表者の氏名：Richelle MATIBAG ②所在地 F20, 1st Floor, Eden Plaza, Eden Island, Republic of Seychelles ③事業内容 暗号資産取引プラットフォームの運営及び 総合的なデジタル資産サービスの提供 ④その他（CoinMarketCapの最新情報、金額は米ドル換算） 取扱い暗号資産の数：1,998、取引ペア数：2,410 1日平均取引金額：約14.9億米ドル ユーザー数：1,000万人以上 <MEXCの世界総合ランキング（※1）> CoinMarketCap調べ：11位、CoinGecko調べ：17位 (※1) 上記は2024年4月1日10時現在の暗号資産2大リサーチ会社による独

	<p>自評価であり、ランキングは常に変動しております。最新情報は下記のWEBページでご確認ください。</p> <p>https://coinmarketcap.com/ja/rankings/exchanges/ https://www.coingecko.com/en/exchanges</p>
(4) リスティング取引ペア	<p>XNK/USD T (現物取引)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Kinkaのティックャーシンボルは「XNK」と表示 ・1XNKは1トロイオンス(約31.1035g)の金地金で裏付け ・USD Tはテザー社発行の米ドル連動型の暗号資産 (テザー社のWEBサイト：https://tether.to/en/) ・XNKの購入代金はUSD Tでの支払い ・売買手数料は最大0.1%
(5) 売買単位	0.001XNK (最低投資額は約340円相当)
(6) レート表示	1XNKあたりのUSD T価格(小数点第5位まで) (レートの表示例：1XNK=2,250.12345USD T)
(7) 金地金との交換	<p>XNKと金地金の交換は、10kg以上1kg単位</p> <ul style="list-style-type: none"> ・KinkaのWEBサイト(https://kinka-gold.com/)にて受付

2. 今後の計画について

今回の「MEXC」のリスティングも、第一弾の「CoinW Exchange」、第二弾の「BitMart」のリスティングと同様、既存発行分のダイレクト・リスティング(※2)となります。従いまして、「MEXC」におけるXNKの販売方法は、当社の海外子会社「Kinka(BVI),Ltd.」が一般顧客と同様に「MEXC」に取引口座を開設し、既存発行分のXNKをその口座に入庫し、「売り注文を出す」という形で販売を行います。そして、売り切れた場合には追加発行し、同様に販売していきます。

(※2) 2024年2月9日付の「(開示事項の経過)金の価格と連動する暗号資産のリスティングに関するお知らせ」をご参照ください。

また、「CoinW Exchange」、「BitMart」と同様に、「MEXC」においても、海外のマーケットメイカー(MM)と提携し、常に一定量の売り注文と買い注文を同時に出し続け、投資家のXNK/USD Tの売買注文に24時間365日、いつでも応じられるように流動性を供給する役割を担いつつ、当社としましてはMM業務を活用したトレーディング利益も追及してまいります。なお、XNK/USD Tの価格変動により、MM業務によって利益だけではなく損失が生じる可能性もあります。

これまでは、中央集権型取引プラットフォーム(CEX、Centralized Exchange)でのリスティングに注力してまいりましたが、「MEXC」の追加により3つのCEXでの取り扱いが実現することから、CEXにおいてXNKをいつでも売買できる環境整備は一定の成果を上げ

たものと考えております。

今後、暗号資産市場においてXNKの存在感をより高めるためには、分散型金融（DeFi、Decentralized Finance）※3への進出が必須であると考えております。そして、Defiユーザーの利便性を向上させるため、現在、イーサリアム・ネットワーク※4上で稼働する「ERC-20規格」※5のトークンであるXNKを、「ブリッジ」※6という機能を使い、他のネットワーク上でも利用できるようにシステム開発を進め、後述のDEXでの取り扱いを計画しております。

（※3）DeFiとは、ブロックチェーンの技術を活用し、管理者が介在しなくても、ユーザー同士でサービスを利用し合うことができる金融システムのことを指します。従来の金融システムでは、銀行や証券会社等の中央集権的な管理者を介してサービスが提供されてきましたが、DeFiでは「スマートコントラクト」によって全てが完結するため、申請・承認といったプロセスや取引に係る手数料など、時間的・金銭的成本を大幅に削減できるというメリットがあります。

（※4）イーサリアム・ネットワークとは、ビットコイン・ネットワークなど数あるネットワークの一つで、イーサリアム・ネットワークで生成された暗号資産は、イーサリアム・ネットワーク上でしか利用することができません。

（※5）ERC-20規格とは、通貨のように数量的で代替可能なデータを取り扱えるトークン規格のことで、暗号資産市場で広く採用されています。

（※6）ブリッジとは、あるネットワークから別のネットワークへと暗号資産を変換、交換、移動する仕組みです。例えば、Aネットワークの暗号資産（X）をBネットワークへ移動させる場合、①AネットワークでXをロックする、②Bネットワークで同じ価値を持つX'を生成する、③X'を受け取る、という流れになります。

DeFiにおいて投資家は、CEXのリスク（管理者による取引の制限や不正行為等）を回避し、スマートコントラクト（契約から取引の実行まで自動化されたプログラム）によって多種多様な金融サービスをグローバルに活用することができます。

管理者が介在するCEXに対し、DeFiを活用して投資家同士が直接取引するプラットフォームのことをDecentralized Exchange（DEX）と呼びますが、XNKをCEXとDEXの両方で取り扱うことで投資家の選択肢が多様化し、XNK全体における高い流動性の創出と取引機会の拡大が見込めるものと考えております。

3. 今後の業績に与える影響について

2024年2月9日付の「（開示事項の経過）金の価格と連動する暗号資産のリスティングに関するお知らせ」においてもご説明しておりますが、「MEXC」での取引においても同様に、XNKを販売し代金（USD T）を受け取った時点で売上として認識し、日本時間の9時で1日分を集計し、USD Tを9時時点で円換算した金額が連結売上高に計上されます。

XNKは相場商品かつ米ドル建て商品に近いものであることから、需要は米ドル建て金相場及び「MEXC」ユーザーの投資動向の影響を、販売代金は為替（米ドル/円）相場の影響を受けることとなります。

そのため、XNKの追加リスティングによる業績への影響を合理的に試算することは非常に難しいことから、今後の販売状況によって公表すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以上